平成３０年度　第４回深谷市まちづくり評価委員会　会議録

（グループ評価２回目）

① 実施日時

平成３０年１２月１３日（木）午後１時００分～３時００分

② 場所

本庁舎３階　大会議室

③ 出席者

　　　委員７人

（神山委員長、吉田副委員長、富田委員、福地委員、細井委員、

大澤委員、村岡委員）

協働推進課４人

（杉本課長、佐藤補佐、小島係長、飯島係長）

企画課（事務局）６人

（荻野次長、清水補佐、倉林係長、中島係長、小川主査、深町主任）

１．開会

２．あいさつ

３．グループ評価

協議された主な解決策、改善策は以下の通り。今回協議された内容を、今後の施策の方向性及び事業の実施方法に活かすこととする。

　■シビックプライド醸成について

・シビックプライド醸成には「貢献感」と「自己有用感」が必要である。

・シビックプライドとブランド力の双方を、スパイラルに高めていくことが大切。

・「技活」事業に、企業の技の紹介も加えることで、深谷市には素晴らしい企業がたくさんあるとPRできれば、シビックプライドの醸成になる。

・行政側の頑張っている人を紹介する場があると、市民のシビックプライドも醸成されるのではないか。

■ロゴ、キャッチコピーの作成について

・ロゴ、キャッチコピーを作ると何が良いのか、市民が実感しやすいようにする必要がある。

・ロゴは「ふっかちゃん＝深谷市」を定着させるための手法として取り組むと良いのではないか。

　　　　■深谷市に関係する一人ひとりがPRマンとなるための事業展開について

・一貫した何かがあると、市民がPRマンとして営業しやすい。

・行政も企業のように、収益を得て事業を行うことも必要である。

・企業にもメリットのあることをやれば、企業は必ず参加する。

・「深谷が好き」と思ってもらうためには、人と人が本気で話し合うことが重要で、その本気度に人がついてくる。